

再評価結果（平成20年度事業継続箇所）

担当課：国道・防災課

担当課長名：下保 修

事業名	一般国道195号 高知バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	高知県						
起終点	自：高知県高知市弥右衛門 至：高知県南国市岡豊町中島	延長	4.8km								
事業概要 ：一般国道195号は、高知県高知市から徳島県徳島市へ至る延長約150kmの幹線道路であり、県都高知市と南国市、香美市を結び沿線地域の産業、経済活動、日常生活を支える重要な路線である。しかし、高知市から南国市にかけての区間は路面電車と併走し、幅員も狭い。また、慢性的な渋滞が発生している。こうした現道状況の改善や、地域間交流・物流の効率化等を目的とした延長4.8kmの事業である。											
H5年度事業化	H2年度都市計画決定 (H13年度変更)	H5年度用地着手	H5年度工事着手								
全体事業費	200億円	事業進捗率	75.7%	供用済延長	3.0km						
計画交通量	21,400～22,100台/日										
費用対効果分析結果	B/C (事業全体)	総費用 (残事業)/ (事業全体)	総便益 (残事業)/ (事業全体)	基準年 ：平成19年							
	(残事業)	45 / 244億円 事業費：42 / 240億円 維持管理費：3.2 / 3.8億円	308 / 460億円 走行時間短縮便益：285 / 435億円 走行費用減少便益：15 / 15億円 交通事故減少便益：7.6 / 9.6億円								
事業の効果等											
<ul style="list-style-type: none"> 円滑なモビリティの確保（現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善） 安全で安心できるくらしの確保（三次医療施設「高知医療センター」へのアクセス向上） 					他13項目に該当						
関係する地方公共団体等の意見											
<ul style="list-style-type: none"> 慢性的な渋滞解消や、交流の時間短縮を図るため、沿線市で構成する国道195号改良促進期成同盟会より早期の整備が要望されている。 											
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等											
<ul style="list-style-type: none"> 平成10年の集中豪雨により布師田地区が甚大な被害を受け、排水対策等の地元協議が長期化した。平成18年に協議が整い、布師田地区の工事に着手した。 											
事業の進捗状況、残事業の内容等											
<ul style="list-style-type: none"> 現在までに1.3kmを完成供用、1.7kmを2車線暫定供用している。 残事業は橋梁を含む未供用区間1.9kmの整備と、2車線暫定供用済区間の4車線化（橋梁等）である。 											
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等											
<ul style="list-style-type: none"> 橋梁等の大型構造物の事業費が大きく近年の公共事業費の縮減で事業期間が長くなっているが、平成20年代前半の2車線暫定による全線供用、20年代後半の4車線完成供用を目指して整備を進めている。 											
施設の構造や工法の変更等											
<ul style="list-style-type: none"> 特になし 											
対応方針	事業継続										
対応方針決定の理由											
<ul style="list-style-type: none"> 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらない。 											
事業概要図											
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>凡</td> <td>例</td> </tr> <tr> <td></td> <td>再評価箇所</td> </tr> <tr> <td></td> <td>うち供用中</td> </tr> </table>		凡	例		再評価箇所		うち供用中	<p style="text-align: center;">高知バイパス L=4.8km</p>			
凡	例										
	再評価箇所										
	うち供用中										

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。